

学校教育目標

よく考え 協力し合って 最後までがんばりぬく 心豊かな子どもの育成

＜昨年度の実態＞

- ・学力調査は、全国、県、市ともに全ての教科で全国平均や目標値を上回った。
- ・「授業がとてもよくわかる」と回答する児童 50%…38.1%(わかるを含めると 1 学期 81.8%→3 学期 85.7%)
- ・年間読書目標冊数 低学年 150 冊 中学年 120 冊 高学年 80 冊以上…69.1%(昨年度 46.9%)
- ・一人一提案授業を全員 1 回以上実施…全員が実施 (参観者から授業者へ直接意見を伝えたり、紙に書いて意見を伝え合った)

＜学校関係者評価＞

- ・課題を与えて考えさせている
- ・学力が明らかに良くなった
- ・授業がとてもよくわかる 50%は難しいだろう
- ・意欲の低い子のやる気を出す取り組みが必要
- ・習熟度別指導は良い
- ・自分の考えをノートやホワイトボードに書いていた
- ・創意工夫する力をつけていくことも大切

重点項目	重点項目	重点的な取り組み	取り組み指標
集中して学習に取り組む子どもの育成 (学習・研修部)	『授業がよくわかりますか』の質問に「A (よくあてはまる) B (あてはまる)」と回答する児童の割合を 90%以上にする 昨年度 85.7%	学習規律を徹底する	・忘れ物調査と指導を毎日行う ・チャイム着席指導を毎時間行う
		少人数指導、個別指導に取り組む	・週2回のチャレンジタイムの実施 ・指導の厳しい子どもへの個に応じた指導を行う
		授業力の向上に取り組む	・毎時間「課題」「まとめ」を板書に明示する ・全員が互見授業を行う
		読書活動の活性化に取り組む	・週1回以上図書館を利用させる(委員会) ・多読賞にむけて取り組ませる

家庭の取組

- 家庭学習の習慣化…「家庭学習のてびき」「家庭学習 5 つの土台」「家庭生活 5 つの土台」の活用 (低 30 分 中 45 分 高 60 分) …前期、後期に 1 週間の確認期間を設ける

地域の取組

- 子どもサロン『公民館夏休み塾』…夏休み中 15 日間 (地域の人が講師)
- ふれあい P T A『大道っ子 お仕事 たんけん隊』…キャリア教育の実施

2016年度 学力向上プラン (各学年の具体的なプラン)

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
授業	学習の流れが分かる板書 (課題の位置づけ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を青囲みで示す。 ・まとめに使うキーワードを意識して板書に残し、位置付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから出てきた言葉を課題やまとめに位置づける。 ・めあてとまとめを板書に位置付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思考の流れにあった課題の位置づけ。板書をもとに自分の言葉でまとめをする。 	
	自分の考えを持たせる手立て (見通しの持たせ方等)	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かし、見通しを持たせる。 ・具体物用いたり、操作や活動をしたりして考えさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・前時との違いに目を向けて見通しを持たせる。その後に考える時間を確保する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を提示し、本時の学習と、前時までの学習との違いに目を向けさせる。 	
	考えを伝えるための手立て (ノート、ホワイトボードの活用等) ・考えをペアで話したり聞いたりする活動を取り入れる。 ・相手を意識して、話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードなどを使ってペアで説明できるように指導する。 ・ペア学習を自分の考えを持たせる場やまとめの段階で取り入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードなどを使ってペアやグループで互いの考えを伝え合う活動を取り入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ペア・グループなどで、共同的な教え合い、学び合いの時間を作る。 ・ホワイトボードなどの資料を提示して、伝える活動を取り入れる。 	
	校内研修に関する伝え合う活動	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会などで話す活動を取り入れる。 ・話形をもとに話す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会のスピーチの時間などを利用して、伝え合う活動をする。質問の時間等も入れて取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会のスピーチの時間などを利用して、伝え合う活動をする。質問の時間等も入れて取り組む。 	
	チャレンジタイム 月曜日…表現する活動 (話す・聞く・書く) 水曜日…基礎学力定着 (言語、読解、計算)	(月)音読・群読・スピーチ、言葉 (水)計算ドリル(2回)・算ブリ	(月)音読・スピーチ・文作り (水)計算ドリル(2回)・算ブリ	(月)音読・スピーチ・ミニ作文 (水)計算ドリル(2回)・算ブリ・漢字意味調べ	(月)群読・スピーチ・ミニ作文 (水)計算ドリル(2回)・解説(国語・理科)	(月)討論・スピーチ・ミニ作文 (水)計算ドリル(3回)・漢字・算ブリ	(月)音読・群読・スピーチ (水)計算ドリル(2回)
個別指導	・チャレンジタイムや休みの時間で取り出して行う。	・チャレンジタイムや授業の終末や練習問題、休み時間を利用する。	・チャレンジタイムや休み時間を利用する。	・チャレンジタイムや給食の待ち時間を利用する ・宿題のやり直しを徹底する	・チャレンジタイムを利用する。	・給食前の時間を活用する	
家庭との連携	手引き・土台の啓発	家庭訪問での配布・周知	家庭訪問での配布・周知	家庭訪問での配布・周知	家庭訪問での配布・周知	家庭訪問での配布・周知	家庭訪問での配布・周知
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎勉(視写と習った計算)をさせる。 ・音読、計算カードを唱える。 ・30分間の家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、計算、音読を毎日出す。 ・グループノート(週1回) ・30分間の家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、計算ドリルやプリント、音読、計算カードの宿題を出して、学習の定着を図る。週末に日記。 ・40分間の家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・計算ドリル・音読・日記を毎日出す。 ・45分間の学習時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読、漢字、計算ドリル、日記、自学 ・50分間の家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読、国語、算数、日記 ・60分間の家庭学習の定着